

## ～魅力と活力・花と緑あふれる横浜をめざして～ 「国際園芸博覧会招致検討委員会」を設置します

平成 27 年 6 月に米軍から返還された旧上瀬谷通信施設<sup>※</sup>では、郊外部の再生に資する新たな活性化拠点を目指し、農業振興とともに新たな都市的土地利用を進め、人や企業を呼び込む魅力ある拠点づくりに取り組んでいます。

このため、都市基盤整備の促進、地域の知名度やイメージの向上、更には国内外の先導的なまちづくりに寄与する、**国際園芸博覧会の招致検討**を進めています。

また、現在開催中の「全国都市緑化よこはまフェア」の成果を継承し、新たな横浜の魅力や、観光・MICE 都市としての存在感を一層アピールするためにも、国際園芸博覧会の招致検討に取り組みます。

このたび、招致検討の基本的な構想をまとめるため、「旧上瀬谷通信施設における**国際園芸博覧会招致検討委員会**」を設置し、**6 月 5 日に第 1 回委員会を開催**します。

今後、この委員会の調査、審議をもとに、市民の皆様や企業、関係者の皆様のご意見を伺いながら、横浜市としての国際園芸博覧会基本構想案を策定し、開催主体となる国への要請につなげていきます。

### ※旧上瀬谷通信施設について

旭区と瀬谷区にまたがり、面積約 242ha と広大かつ平坦であり、横浜のみならず首都圏に残された貴重な土地です。その土地利用については、郊外部の再生に資する新たな活性化拠点の形成を目指しています。

## 1 「国際園芸博覧会招致検討委員会」の概要

### (1) 設置の目的

旧上瀬谷通信施設の土地利用促進策として国際園芸博覧会の招致を図るため、次の事項を調査審議いただきます。

- ア 国際園芸博覧会の招致を図るための基本構想の策定
- イ その他、国際園芸博覧会の招致に関し必要な事項

### (2) 主な取組

- ア 招致検討委員会の開催  
平成 29 年度に 5 回程度を予定  
(招致検討委員会委員の任期は 4 年とし、平成 30 年度以降も必要に応じて開催します。)
- イ 主な調査審議事項  
国際園芸博覧会基本構想案：開催意義・理念、会場のゾーニング、スケジュール等

※資料や議事録はホームページで随時公開します。

<URL> <http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/engeihaku/iinkai.html>

### (3) 委員会組織

委員は、造園や、園芸、都市計画、経済、観光等に関する有識者 14 名に参加いただく予定です。

氏名	現職等
池田 典義	横浜商工会議所 副会頭
岸井 隆幸	日本大学 理工学部教授
隈 研吾	東京大学 大学院工学系研究科教授
坂井 文	東京都市大学 都市生活学部教授
坂田 宏	株式会社サカタのタネ 代表取締役社長
須磨 佳津江	キャスター・ジャーナリスト
福岡 孝則	東京農業大学 地域環境科学部准教授
水谷 初子	株式会社 J T B グローバルマーケティング&トラベル執行役員
三輪 律江	横浜市立大学学術院 国際総合科学部准教授
保井 美樹	法政大学 現代福祉学部・人間社会研究科教授
若松 浩文	株式会社ランド 代表取締役
涌井 雅之	東京都市大学 特別教授
和田 新也	一般社団法人 日本造園建設業協会 副会長
渡辺 真理	アナウンサー

## 2 第1回国際園芸博覧会招致検討委員会

### (1) 日時

平成29年6月5日(月) 午前10時から12時まで

### (2) 場所

横浜市開港記念会館 2階6号室 (横浜市中区本町1丁目6番地)

### (3) 調査・審議事項

- ・委員長選出
- ・現状の把握
- ・検討の視点
- ・意見交換

### (4) 傍聴について

委員会は公開です。当日、午前9時30分から9時45分までに直接会場の受付にお越しください。なお、定員(10人)を超える場合には、希望者全員で抽選を行います。

### (5) 取材について

記者席を設けますので、事前に下記連絡先にお申し込みの上、会場の受付にお越しください。なお、会議後に同館7号室にて委員長会見を行いますのでお集まりください。

## (参考) 国際園芸博覧会について

国際園芸博覧会は、国際的な園芸・造園産業の振興及び花と緑のあふれる暮らしや地域の創造を目的に開催される国際博覧会です。

国内における国による国際園芸博覧会は、1990年に大阪で開催された「国際花と緑の博覧会(花の万博)」があり、開催理念である「自然と人間との共生」を全世界に発信し、環境を重視する都市づくり等の先導的役割を果たしました。

### お問合せ先

政策局政策課 担当課長 折居 良一郎 Tel 045-671-3124